

地方出版

情報誌

アクセス

毎月1回	1日発行
購読料	定価 150円 (本体 143円)
	年間 1,500円 (税込み)
振替	00120-0-19017

発行所 (株)地方・小出版流通センター
編集 アクセス編集委員会

〒162-0836 東京都新宿区南町20
TEL.03-3260-0355 FAX.03-3235-6182

作家・佐野眞一さんを迎えて記念講演会を企画

地方出版のいまと未来を問う、 多彩な「首都懇」20周年記念事業

片桐 務 (首都圏出版人懇談会事務局・夢工房代表)

地域に根ざし、人びとの暮らしと文化を育み、地域の出版文化を支えつづけてきた首都圏出版人懇談会(会長・星野和央。以下「首都懇」)が、1990(平成2)年12月に発足してから20年がたちました。

神奈川・東京・埼玉・茨城・栃木・群馬・千葉・福島に拠点を置く17社は、それぞれの地域で独自の足場を築き、各社の特性を生かしつつ、「地域文化の創造」という共通理念を掲げ出版活動をつづけてきました。同時に首都懇は、「共同目録」の発行やホームペー

ジなどによる情報発信、編集・出版・IT技術や出版経営などの研鑽を重ね、各地の書店と協働の「ブックフェア」の開催などにより、首都圏の出版文化の一翼を担ってきました。

この間、恒常的な出版不況、活字文化の退潮が喧伝されてきました。また、近年のIT技術・映像文化の目覚ましい進展や電子書籍の出現により、「紙の出版」の未来については、グーテンベルク以来の大変革が不可避と見なされてきました。しかし、人間存在と「紙の本」の揺るぎない関係は、現在と未

来の本づくりにおいても不変の可能性を秘めています。

さて、3月11日に起きた東日本大地震、大津波という、かつてない自然災害。それにより引き起こされた福島第1原子力発電所の事故、人災による広域で深刻な影響は、人類の高度な知見の結集と迅速・果敢な対応なしには解決の糸口が見つかりません。一人ひとりの命の重みと、地域における暮らし方、生き方がいま鋭く問われているのでしよう。

地域と人びとの暮らしが問い直されている現在の状況は、私たち出版人に課せられた「地域深耕」の大きなテーマと重なります。日本の結節点とも言えるこの時代、「首都懇20周年記念事業」は、地方・小出版流通センター、明治大学図書館、神田・三省堂本店のご協力・共催の下に、6月初旬から約1か月間にわたり開催します。企画の内容は次のとおりです。

◆イベント企画内容◆

◆企画展「関東の地方出版・全仕事～地域文化を耕す20年のあゆみとこれから～」

<期間> 6月4日(土)～7月10日(日)、<会場> 明治大学図書館ギャラリー、**入場無料**、<内容> 加盟17社の紹介と出版物の展示・首都懇20年のあゆみ・地方出版が発掘したテーマ。

◆記念フォーラム <日時> 6月25日(土)午後2時～4時30分、**入場無料**、<会場> 明治大学紫紺館 3階会議室 (〒101-0052 千代田区神田小川町3-22-14 TEL (03) 3296-4739)

●講演: 「震災・地域・出版のいまと未来」(仮) <時間> 午後2時～3時、<講師> 佐野眞一(ノンフィクション作家)。

●シンポジウム: 「地方出版に未来はあるか?」(仮) <時間> 午後3時15分～4時30分、<コーディネーター> 川上賢一(地方・小出版流通センター)、<パネリスト> 佐野眞一(作家)・星野和央(さきたま出版会)・阿部隆一(歴史春秋社)。

◆記念レセプション<日時> 6月25日(土)午後5時～7時、<会場> 明治大学紫紺館(椿山荘)4階会議室、<参加費> 1人1万円(事前申し込みが必要です)。

◆20周年記念ブックフェア「関東の地方出版・全仕事～首都圏出版人懇談会17社・2000点～」

<期間> 6月11日(土)～7月10日(日)、<会場> 神田・三省堂本店4階 人文コーナー特設会場

<内容> 加盟17社の書籍約2000点を展示・販売。

フォーラムでは、佐野眞一さんの鋭い地域論・出版論をお聞きし、これからの地方出版の新たな地平を拓く契機とし、出版人交流の場にしたいと思えます。多数の参加をお待ちしています。詳細は下記にお問合せください。

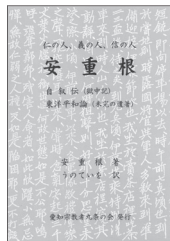
<首都懇加盟社> 神奈川(有隣堂出版部・230クラブ・かまくら春秋社・江ノ電沿線新聞社・夢工房)・東京(けやき出版)・埼玉(埼玉新聞社・さきたま出版会・幹書房・まつやま書房)・茨城(筑波書林・STEP)・栃木(随想舎)・群馬(あさを社)・千葉(たけしま出版・崙書房)・福島(歴史春秋社)

<事務局> 〒257-0028 神奈川県秦野市東田原200-49 夢工房 TEL (0463) 82-7652 FAX (0463) 83-7355

新刊ダイジェスト

※価格は総額(税込)表示です。

『安重根自叙伝・東洋平和論 一仁の人、義の人、信の人』 ●安重根著／うのていを記



1909年10月、清国ハルピン駅頭で前韓国統監伊藤博文を射殺。翌3月、旅順刑務所にて処刑。韓国では今も「朝鮮独立の義士」と称される安重根。韓国併合と大逆事件の荒波の中で、当時からわが国で彼の存在が注目されることはなかった。それから100年、獄中の僅かな時間で書かれた自叙伝と未完の「東洋平和論」が初めて翻訳されたことの意味は大きい。東学農民戦争への抵抗、

クリスチャンとしてなど奇数な人生もさることながら、伊藤暗殺の大義が、日露開戦で天皇が布告した「東洋平和を維持し、大韓独立を強固にする」に希望を託した故であることを知り、植民地支配の罪深さを改めて思うのである。

◆840円・B6判・120頁・ほっとブックス新栄・愛知・2011/2刊・ISBN978-4-903036-14-4

『大場栄と峯子の戦火のラブレター』 ●水谷眞理／竹内康子編



竹野内豊主演の映画「太平洋の奇跡 フォックスと呼ばれた男」の主人公、大場栄とその妻峯子が日中戦争下の7年間に戦地と銃後の間で交わされた600通以上に及ぶ手紙を編集した本「戦火のラブレター」。手紙には二人の馴れ初めをロマンチックに語り合うところや、息子が成長していく様を受けて、早く見たい、抱き上げたいといった愛情溢れたもの。同じ姓の人が負傷して栄と

思い心配する様などなど。戦争という暗い影を感じながらも、二人の遣り取りは明るく、とくに峯子の表現がユーモア豊かで微笑ましい。峯子の実兄の孫に芥川賞作家の平野啓一郎がいるのも文才のある家系なのかと想像してしまう。

◆1890円・四六判・351頁・これから出版・愛知・2011/2刊・ISBN978-4-903988-02-3

『テロメア寿命をめざして』 ●樋廻博重著



「テロメア寿命」とは、病気ではなく天寿をまっとうして老衰死に至る寿命のことで、それは120歳くらいとのこと。ではどんな食生活をしたら、このテロメア寿命に近づけるだろうか。本書では、野菜や海藻など繊維分の多い食品、DHAやEPAが多い青背の魚、免疫力を高め、抗酸化作用を持ち、ストレスに有効なビタミンC、Eなどを多く含む食品等々、いろいろな食べ物に言及する。そ

の中で特記すべきは、これらさまざまな効能を有し、誰でもすぐに入手でき、しかも簡単に摂取できる緑茶について各章で触れながら、後半で一章を設けてその驚くべき効用についてまとめて述べている点である。

◆987円・新書判・153頁・三重大学出版会・三重・2011/2刊・ISBN978-4-903866-08-6

『大隈重信 一佐賀偉人伝02』 ●島善高著



大正11年1月17日、大隈重信の告別式が行われた日比谷公園は、20万とも30万人とも言われる会葬者で埋め尽くされた。まさに真正正銘の国民葬であった。以来、わが国を訪れる政治家たちは、早稲田大学で演説することを誇りにするようになったと言う。ネール、ガンジー、マンデラ、ヴァイツゼッカーと上げたらきりが無い。それほどまでに人を惹きつけて止まない大隈の魅力とは

何なのか。テロに右脚を奪われても道徳的信念を貫いた政治、権力から独立した人材育成を目指した教育、わが国を東西文明の調和点として世界平和を希求した文明運動。その三点に焦点を当てる。

◆1000円・A5判・110頁・佐賀県立佐賀城本丸歴史館・佐賀・2011/1刊・ISBN978-4-905172-01-7

『選挙カーから見た信州』 ●松本猛著



2010年、いわさきちひろ絵本美術館長と安曇野ちひろ美術館長を辞して、長野県知事選に立ち、18万票余、総投票数の21%を得るものの落選。断わり続けた立候補を決意させたのは、尊敬する人からの、日本で本当に文化を大切にしている県はないの一言。だが、選挙のプロからは、文化や教育では票にならないと。辻立ちでは、店から顔を出したおじいさんから、一日座っていても一人

も客が来ない気持ちがわかるかとも。広い信州を隈なく回り、現場に行かなければ物事の本質が分からないことを知る。選挙を通して考え学んだ、魅力的な信州である為の教育、農林業、環境、医療、福祉、観光のあり方を改めて問い直す。

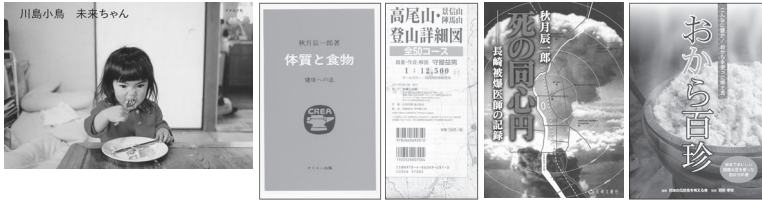
◆1470円・四六判・231頁・しなのき書房・長野・2011/2刊・ISBN978-4-903002-30-9

売行良好書

期間：2011年3月16日～4月15日

【出荷センター扱い】※税込み価格

- (1)『未来ちゃん』2100円・ナナクロ社 (2)『体質と食物』368円・クリエ出版部 (3)『高尾山・景信山・陣馬山登山詳細図』735円・吉備人出版 (4)『死の同心円』1680円・長崎文献社 (5)『おから百珍』2200円・GU企画 (6)『なせば成る!』840円・山形大学出版会 (7)『赤いおおかみ』2415円・古今社 (8)『ベターホームの朝ごはん』1000円・ベターホーム出版局 (9)『新装版 不思議の国のアリス・オリジナル』2100円・書籍情報社 (10)『私たち図書館やってます!』1470円・南方新社 (11)『河野裕子』1890円・青磁社 (12)『イザベラ・バード紀行』4410円・無明舎出版 (13)『歌集 ひとさらい』1260円・書肆侃侃房 (14)『松田優作と七人の作家たち』2310円・荻書房



【三省堂書店神保町本店4F—センター扱い図書】※税込み価格

- (1)『未来ちゃん』2100円・ナナクロ社 (2)『東京かわら版 4月号』630円・東京かわら版 (3)『昭和プロレスマガジン 23』1000円・昭和プロレス研究室 (4)『北海道いい旅研究室 13 book 1』690円・海豹舎 (5)『越中中世城郭図面集(特)』3150円・桂書房 (6)『高尾山・景信山・陣馬山登山詳細図』735円・吉備人出版 (7)『北海道いい旅研究室 13 book 2』690円・海豹舎 (8)『前九年・後三年合戦と奥州藤原氏』9450円・高志書院 (9)『信濃村上一族』2100円・歴研 (10)『九州ジャズロード』2100円・書肆侃侃房

【ジュンク堂書店新宿店—センター扱い図書】※センター出荷データより/税込み価格

- (1)『未来ちゃん』2100円・ナナクロ社 (2)『チェルノブイリ原発事故 25年のメッセージ』525円・原子力資料情報室 (3)『原発震災 止めるのはわたしたち』525円・原子力資料情報室 (4)『原発は地震に耐えられるか』840円・原子力資料情報室 (5)『ほんとにだいじょうぶ? 身近な放射線』525円・原子力資料情報室 (6)『高尾山・景信山・陣馬山登山詳細図』735円・吉備人出版 (7)『考えてみよう原発のこと』840円・原子力資料情報室 (8)『昭和プロレスマガジン 23』1000円・昭和プロレス研究室 (9)『ハンドブック 災害と心のケア』735円・アスク・ヒューマン・ケア (10)『危機への心理支援学』3150円・遠見書房

以下ホームページでも各種情報提供を行っております。ご利用ください。
 本と出版流通のページ：<http://neil.chips.jp/>

トピックス — ★★


▼原発関連書への問い合わせが急増

原子力資料情報室が発行する小冊子類は、これまで多くても月に数冊程度注文が入るだけでした。しかし、東日本大震災における福島第一原発事故と深刻な放射能漏れの報道以降、読者、書店から問い合わせが急増しています。その刊行物の多くが発行から何年も経っているものですが、その内容は今読むと予言的とも言えるものになっているのがわかります。中でも『原発は地震に耐えられるか』(840円 2008/3 発行)では、〈福島原発は地震に耐えられるのか〉という章の中に、「津波対策は万全か」という、今回の事態を想定していたかのような一考察があります。この他、『チェルノブイリ原発事故 -25年のメッセージ』(525円)という冊子が、緊急出版されました。今回の原発事故を受けて巻末に〈東日本大震災と福島原発事故〉という特別付録をつけてあります。他に問い合わせが多いものに『老朽化する原発 -技術を問う』(1050円 2005/3 発行)『ほんとにだいじょうぶ? 身近な放射線』(525円 2006/3 発行)『原発災害 -止めるのはわたしたち』(525円 2008/8 発行)があります。他社になりますが長崎の被爆医師秋月辰一郎氏の著書『体質と食物』(クリエ出版刊 368円)『死の同心円』(長崎文献社刊 1680円)への問い合わせもこの1ヶ月続いています。

郵便販売のご注文方法

- ◎お名前、お届け先(郵便番号、住所)、連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、冊数の必要事項を明記のうえ、下記までFAXでご連絡ください。
 - ◎送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせていただきます。基本的にメール便は、一冊210円でお送り致します。(メール便の到着は、発送してから3~4日かかります。)お急ぎの方、その他ご要望がございます場合はお気軽に下記までお問い合わせ下さいませ。
 - ◎なお書籍お買上総計(税抜き価格)が5,000円以上の場合は、送料をサービスさせていただきます。
- ★地方・小出版流通センター
 FAX：03-3235-6182

地方・小出版物のデータになります。綴じて保存してください。



三省堂書店

BOOKS SANSEIDO

神保町本店 4階
地方出版・小出版物フロア

営業時間 10:00 AM ~ 8:00 PM
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1
 TEL. 03-3233-3312(代)
 URL. <http://www.books-sanseido.co.jp>

営業の
ごあんない

本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。

